

鉄道係員に対する暴力行為の主な事例・取組みについて(平成24年度)

1. 暴力行為の主な事例

月	12月	曜日	土曜日	時間帯	24時
場所	ホーム	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	あり
<p>列車の扉を押さえて閉扉できないようにしていた旅客のグループがいたところ、そのグループのうち1名が車内で酩酊し熟眠し、列車の発車を妨げていたことから、駅社員は旅客に退いていただくようお願いした。(同列車は遅延して出発)</p> <p>列車発車後、当該旅客グループは、駅社員に対し「生意気だ」と詰め寄り、交代で腹部や顔面を殴り、更に、制止に入った駅社員等も胸ぐらを掴まれるなど暴力行為を受けた。(右肋骨捻挫・右下顎打撲 全治21日間など)</p>					

月	5月	曜日	木曜日	時間帯	23時
場所	ホーム	加害者の年齢	36歳	飲酒の有無	あり
<p>ホームから線路に用を足している旅客を発見し、駅助役が注意したところ、左手の拳で殴ってきた。</p>					

月	10月	曜日	水曜日	時間帯	23時
場所	車内	加害者の年齢	不明	飲酒の有無	不明
<p>特急列車車内で検札中、特急券を持っていなかった旅客に料金の支払いを求めたところ、壁に押し付けられたうえ、肩を小突かれ、所持品を奪われた。(左肩打撲 全治5日間)</p>					

月	7月	曜日	金曜日	時間帯	23時
場所	車内	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	あり
<p>終着駅で、車内で寝ていた旅客に降車を求め声を掛けたところ、突然殴りかかり、さらに足を蹴られた。</p>					

月	11月	曜日	月曜日	時間帯	23時
場所	コンコース	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	あり
<p>禁煙となっているコンコースで喫煙をしている利用者を注意したところ、払い腰のように足を掛けられ、体を右横に投げ倒された。その際、右肘、右膝を床に強打、更に倒れた時に加害者の左足で右腿付近を1回蹴られた。(全治14日)</p>					

月	10月	曜日	日曜日	時間帯	25時
場所	改札	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	あり
<p>タクシー代を貸して欲しい旨申し出た旅客に対して、タクシー代はお貸しできない旨伝えた。そして乗車券の呈示を求めると突然改札にあったコイントレーを投げつけられ受傷。 (全治3日)</p>					

月	11月	曜日	日曜日	時間帯	10時
場所	改札	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	なし
<p>旅客が改札に切符を投入せずに強行突破したため、係員が制止したが、腕を叩いて制止を振り切り逃走した。 係員数名が追いかけたところ、1名を後ろから羽交い締めにして首を絞めあげ、さらに後方へ引き摺り倒した。 (全治3週間)</p>					

月	9月	曜日	月曜日	時間帯	19時
場所	改札	加害者の年齢	50代	飲酒の有無	あり
<p>改札を通れない旅客がいたため、確認をしたところ、入場情報が記録されていない乗車券であったため、係員が状況をお聞きしたところ、いきなり暴行を受けた。 (全治7日)</p>					

月	9月	曜日	金曜日	時間帯	19時
場所	改札	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	不明
<p>改札口で旅客から切符をなくしたと申告があったため、再度運賃をいただく旨を説明したが、支払わずに出場しようとしたため、制止したところ、肩や内腿を蹴られた。</p>					

月	6月	曜日	水曜日	時間帯	24時
場所	改札	加害者の年齢	40代	飲酒の有無	あり
<p>駅務機器に異常があり、駅係員が処置終了後、待たされたことに腹の立った旅客が暴言を吐きながら謝罪を求めてきたところ、駅務係が両膝をついて謝罪したとき、当該旅客に後頭部を強く踏みつけられた。 (全治10日間)</p>					

2. 暴力行為の抑止に関する主な取組み

<ul style="list-style-type: none"> ① 警察官・ガードマンによる巡回の実施 ② 所轄の警察署に依頼し、教習等で護身術訓練に参加 ③ 「駅構内における粗暴事犯防止官民合同会議」への参加やイベント開催 ④ 暴力行為防止ポスターの掲出等の啓発活動 ⑤ 防犯カメラ作動中のステッカーの貼付 ⑥ 刺す又、カラーボール、防犯ブザー等の防犯グッズの配備 ⑦ 負荷により外れるネクタイの着用
